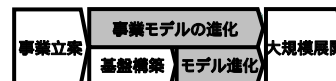




財務報告

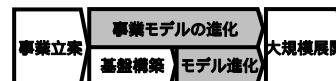


損益計算書				
自平成16年9月22日 至平成17年3月31日				
単位:円				
(収益事業の部)		(非収益事業の部)		(総計)
収入	スタディツアー事業収入	3,252,200	会費収入	601,000
	システム開発事業収入	3,801,740		
			その他事業収入	293,295
			寄付金	3,838,881
			雑収入	18
			受取利息	9
	収入合計	7,053,940		4,733,203
				11,787,143
経費	職業訓練事業直接費用	1,498	2,943	4,441
	図書研修費	72,937	43,404	116,341
	会議費	8,415	5,140	13,555
	交際費	14,373	15,231	29,604
	広告宣伝費	0	81	81
	人件費	0	0	0
	福利厚生費	529	355	884
	駐在員派遣費用	12,032	8,073	20,105
	業務委託費	5,119,375	839,758	5,959,133
	家賃光熱費	393,172	263,820	656,992
	事務所消耗品費	54,227	57,085	111,312
	事務所維持費	349,782	33,038	382,820
	印刷製本費	20,668	20,190	40,858
	通信費	95,045	66,541	161,586
	旅費交通費	894,136	228,068	1,122,204
	租税公課	2,992	2,008	5,000
	商品仕入れ支出	6,768	24,500	31,268
	雑支出	15,504	10,260	25,764
	経費合計	7,061,453	経費合計	1,620,495
				8,681,948
	税引前当期利益	-7,513	3,112,708	3,105,195
	法人税住民税など	40,700	0	40,700
	当期利益	-48,213	3,112,708	3,064,495

* 上記、-7,513円の税引き前当期利益を基礎に申告書で税額計算を行い、計40,700円の法人税等が確定しました。



財務報告



貸借対照表 (勘定式)

平成16年度「特定非営利活動に係る事業」会計 貸借対照表

平成17年度 3月31日現在

短 単位:円

科目	金額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	71,158	
普通預金	3,794,866	
未収金	845,185	
仮払金	0	
流動資産合計		4,711,209
2 固定資産		
建物	0	
車両運搬具	0	
土地	0	
固定資産合計		0
資産合計		4,711,209

科目	金額	
負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
未払金	1,086,094	
未払法人税等	40,700	
預かり金	19,920	
仮受金	0	
流動負債合計		1,146,714
負債合計		1,146,714
正味財産の部		
前期繰越正味財産	500,000	
当期正味財産増加額	3,064,495	
正味財産合計		3,564,495
負債および正味財産合計		4,711,209

2004年9月22日、かものはしプロジェクトはNPO法人化しました。よって、会計期間は9月22日より05年3月31日までとなります。損益計算書、および貸借対照表の数値は、かものはしプロジェクトの下半期の業績に近い数値を示しているとお考えください。

【収入部門】

当団体では、収益事業としてシステム開発事業、ツアー事業を行っています。会費/寄付金収入は非収益事業です。収入部門の合計は、約1200万円となっております。そのうちシステム開発事業は380万円と、約三分の一を占めております。システム開発事業は04年度の当初の目標を達成できなかったものの、前年度と比較して、大きく成長した事業であると考えております。ツアー事業は当団体でスタディツアーを企画し、参加者を集めております。旅行代理店に航空券手配など委託しているため、売上げは320万円と多いものの、利益は約80万円ほどになります。また、法人化時にスタートした会員事業に、当初見込みより多くの方に入会していただいたことで会員事業収入が予算より増収となりました。当団体では自立した収益源を手に入れることを目指しておりますがまだまだ未熟で、十分にそれが達成できているとは言えませんし、組織の安定性を高めるために収入源の多様化しなくてはならないと考えております。その点からも、会員事業による皆様のご支援は今後もより重要となると考えております。

【支出部門】

支出の合計は約870万円です。支出の比重はカンボジアでの支出が多く、全体の3分の1弱は、カンボジアの「たまごプロジェクト」で使用した費用です。その中でも大きな割合を占めるのが、駐在員給与、クメール人スタッフ給与、また、事務所家賃などです。その他に、システム開発や日本での事務局などの人件費(作業委託費)が大きな割合を占めます。05年度も引続き、よりミッションの達成のために効率的にコストを分配していきたいと考えております。

【05年度繰越金】

上記の収支を受けて、かものはしプロジェクトでは約300万円の繰越額を計上しました。これは2005年度のかものはしプロジェクトの活動を進める上で、好材料になると判断できます。